

# 環境活動レポート

[2014年度 2014/4~2015/3]



# 株式会社 ユウキ工業

2015年6月19日

## 1. 株式会社ユウキ工業の事業概要

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 ユウキ工業  
代表取締役社長 北澤 芳恵

(2) 所在地

〒252-0254 神奈川県相模原市中央区下九沢 1093-1

(3) 対象範囲

金属加工部品の製造及び販売

(4) 環境管理責任者

北沢 隆和

(5) 担当者連絡先

〒252-0254 神奈川県相模原市中央区下九沢 1093-1

連絡担当者：北沢 隆和

T E L : 042-700-8070 F A X : 042-779-8702

E-mail : psm@yuki-k.co.jp

(5) 事業概要 (2015年4月1日現在)

①主な事業：金属加工部品の製造及び販売

②資本金：1000万円

③従業員数：28人

④床面積：998.27 m<sup>2</sup>

⑤生産量

	2012年度	2013年度	2014年度
生産量(トン)	176.78	155.1	174.5



## 2. 環境方針

### －(株)ユウキ工業 環境方針－

当社は、金属加工部品の製造業者として、地球環境・地域環境に配慮し、環境保全活動を推進し、次に示す環境方針を定める。

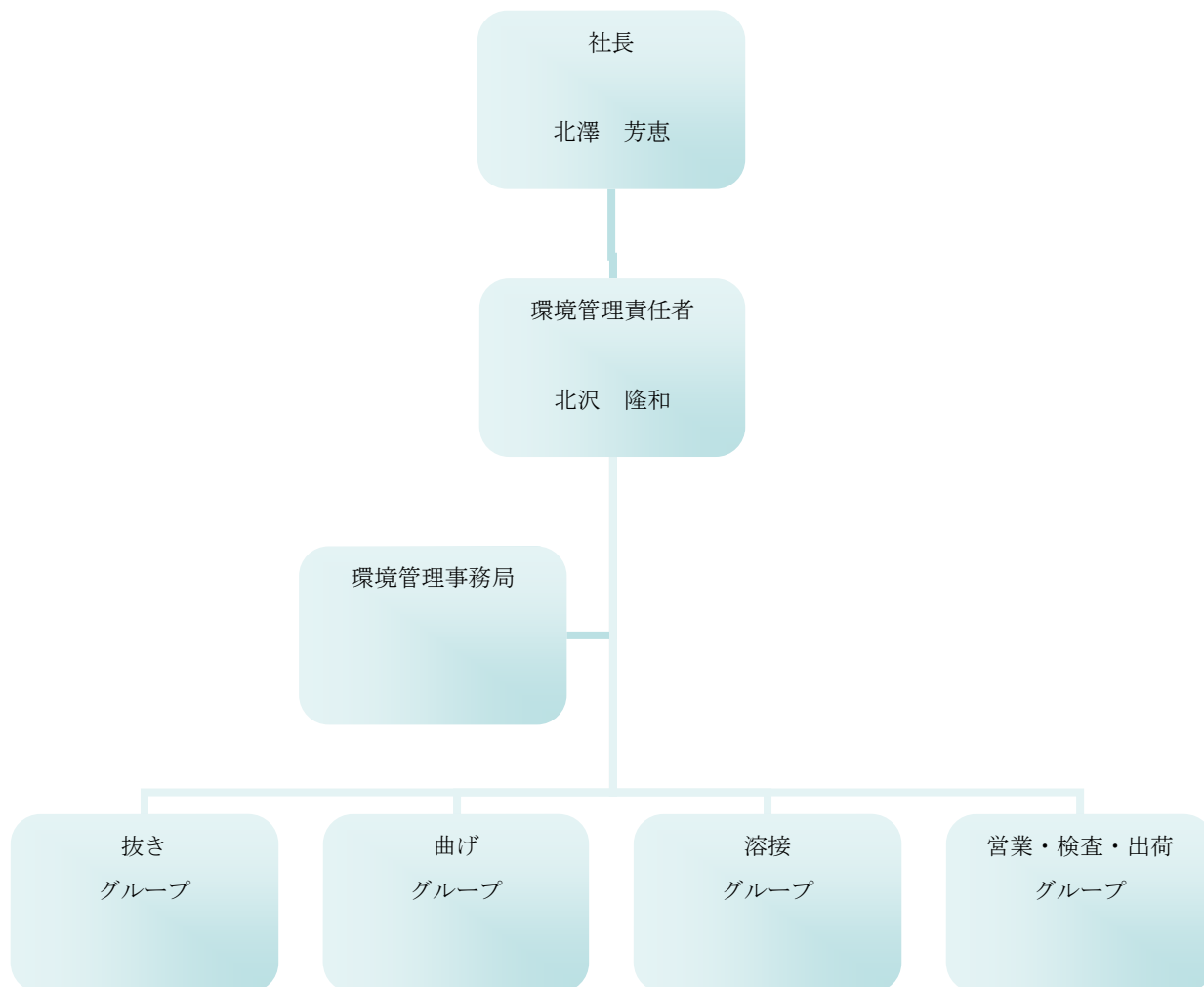
1. 環境目標を設定し、主に以下の項目を取組むことによって、環境負荷を改善する。
  - (1) 廃スクラップ金属の削減
  - (2) 可燃ゴミの削減
  - (3) 電力使用量の削減
  - (4) ガソリンの使用量削減
2. 関連する環境関連の法規制、条例及びその他の要求事項を順守する。その他の要求事項では、有害物質含有禁止に関する顧客要求に対し、管理を徹底して遵守することを重点項目とする。
3. 環境経営システムを確立し、見直しを行って、その継続的改善及び汚染の予防を行い、維持する。
4. 従業員に教育を行い、全員参加による環境保全活動を実行する。
5. 環境方針を含めて記述した環境活動レポートを作成し、利害関係者等からの要求に応じて配布、公表し、社内外への情報提供を行うことによって、積極的な環境コミュニケーションに取り組む。

2008年5月26日改訂  
株式会社 ユウキ工業  
代表取締役社長 北澤 芳恵



### 3. 環境経営システム組織体制

㈱ユウキ工業 環境経営システム組織図  
(2014年4月1日現在)



### 4. 環境負荷実績

項目	2012年度	2013年度	2014年度
CO <sub>2</sub> 排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	145,613	113,535	122,800
水使用量 (m <sup>3</sup> )	411	466	459
廃棄物等排出量 (t)	34.2	29.9	38.9
総物質投入量 (t)	211	185	213

\* 電力事業者名 東京電力

経年比較するために、エコアクション21:2004年版の係数「0.378kg-CO<sub>2</sub>/kwh」を継続して使用



## 5. 環境目標

(株)ユウキ工業 2014年度～2016年度 環境目標

大項目	項目名	2014年度	2015年度	2016年度
廃棄物削減	金属スクラップの削減	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を14%以下にする (2008年度 13.74%)	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を14%以下にする (2008年度 13.74%)	購入金属材料に対する金属スクラップ比率を14%以下にする (2008年度 13.74%)
〃	可燃ごみの削減	2013年度対比1%削減とする	2014年度対比1%削減とする	2015年度対比1%削減とする
CO2削減	ガソリンの使用量の削減	2013年度対比総量1%削減	2014年度対比総量1%削減	2015年度対比総量1%削減
〃	電力使用量の削減	売上高当り2013年実績に対し、1%削減	売上高当り2014年度実績に対し、1%削減	売上高当り2015年度実績に対し、1%削減
〃	CO2総排出量削減	2013年度比1%削減	2014年度比1%削減	2015年度比1%削減
節水	水使用量の削減	2013年度対比現状維持とする	2014年度対比現状維持とする	2015年度対比現状維持とする
グリーン購入	グリーン購入品目の増加	2013年度目標に加え、グリーン調達品目の増加	2014年度目標に加え、グリーン調達品目の増加	2015年度目標に加え、グリーン調達品目の増加
その他	社内エコポイント制度の導入	制度確立及び実施	制度確立及び実施	制度確立及び実施

※「化学物質削減」に関しては、PRTR法等に該当する有害物質の使用が極めて少ないので目標項目としない（「環境負荷の自己チェック」参照）。 以上



## 6. 主要な環境活動計画の内容

(株)ユウキ工業 2014 年度 環境活動計画の主な実施項目

項目名	主な施策
金属スクラップの削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・作業標準書見直し</li><li>・不良削減</li><li>・作業改善を図る</li></ul>
可燃ごみの削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・分別の徹底</li></ul>
ガソリンの使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・効率の良い運行をする</li></ul>
電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・エネルギー・水使用がトータルの実践（エアコンの管理、照明の管理、待機電力の管理等）</li><li>・節電の管理</li><li>・作業標準書見直し</li><li>・不良削減</li><li>・作業改善を図る</li><li>・機械メーカーによる設備メンテナンス及び各担当者による設備メンテナンスによる生産効率向上</li></ul>
CO2 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・電気量・灯油の使用量の削減</li></ul>
水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"><li>・エネルギー・水・紙の使用がトータル(YE-0802)の実践（台所・トイレの節水、掃除時の節水等）</li></ul>
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"><li>・可能な物からグリーン品に切り替える</li></ul>
社内エコ活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・全員が参加出来る環境活動</li></ul>



## 7. 環境活動の取組結果の実績と評価、次年度の取組

(株)ユウキ工業 2014年度の取組結果と評価

No.	実施項目	評価	目標達成度	実施内容と分析、是正・予防処置
1	廃金属スクラップの削減	×	目標： スクラップ率 14%以下 2014年度実績： 20.57%	今年度更に納期が短くなり、スクラップ率を意識した加工が困難となった事や、一部の製品の大型化によりスクラップ率が大幅に増加してしたもの。今後、定尺材料の検討や端材を意識した加工を見直していく。
2	可燃ごみの削減	×	目標：13年排出実績に対して 1%削減 2013年度実績： 6.7%増加 2013年度 604.5kg 2014年度 645.4kg	キズ保護材を必要とする受注が増加し、梱包時に保護材が不要となる為そのゴミが増加した。又、配送品の材料等が増加し、梱包材のゴミが増加した事や油除去のウエスも増加した為と考えられる。受注製品により変化は予想されるが分別の確認等再度削減意識を徹底する。
3	社用車使用量の削減	×	目標：2013年度比総量 1%削減 2014年度実績： 11.1%増加 2013年度： 3,891.20 2014年度： 4,306.70	金属スクラップと同様、更なる短納期対応と、外注先への運送が増え、行先が増えた為と思われる。今後も納品等の回数が減る事は困難と思われるが、可能な限りの効率の良さを考えて行動する。
4	電力使用量の削減	○	目標：売上高当たり 2013年実績に対し、1%削減 2014年度実績： 15%削減 2013年度:0.85 kwh/千円 2014年度: 0.73kwh/千円	単위가売上高当たりの為、数年に渡る設備入れ替えによる省電力機の効果と考えられる。 又、夏場は扇風機の活用頻度を上げ夏場の使用量を抑える事も出来た。今後も節電の意識を徹底し、無駄な電力使用が無いよう努める。



5	CO2 排出量の削減	×	<p>目標:2013 年度比 1% 削減</p> <p>2014 年度実績: 8%増加</p> <p>2013 年度:113,535kg 2014 年度:122,801kg</p>	<p>ガソリンや電気総量は増加したが冬場のストーブ使用を考え、灯油の大幅な削減となった。冬場のストーブの付けっ放し等気になる点もある事から、今後も削減方法を検討していきたい。</p>
6	水使用量の削減	○	<p>目標 : 2013 年度対比 現状維持(総量)</p> <p>2014 年度実績 : 2%削減</p> <p>2013 年度 : 466 m<sup>3</sup> 2014 年度 : 459 m<sup>3</sup></p>	<p>水の使用量の増減は受注内容で大きく変化する事から、今期の削減結果で満足する事なく、常に節水意識を持ち続けられるよう努力する。来期は現状維持できる様、生活排水も意識していきたい。</p>
7	グリーン購入品目の増加	△	<p>グリーン購入品目の増加</p>	<p>数年可能な物から変更はしているものの品目の増加は困難となる事が多いが、今後も地道に可能な変更を検討していく。</p>
8	社内エコ活動	○	<p>全員が参加できる 環境活動</p>	<p>毎月の雑草除去、5S 活動、自転車通勤の推奨の継続が出来た。 更に、トイレ清掃を当番制にし、美化に対する意識が向上した。 今後も継続していきたい。</p>





## 8. 環境改善への取組活動の例

【緊急時訓練】 避難訓練 消火訓練 (2014年11月19日)



【5S活動：草むしり】 (2014年5月10日)



【活動報告会】(2014年6月25日)



## 9. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

### (1) 該当環境関連法規と違反状況

No.	法規制等の名称	評価	違反内容
1	下水道法及び 相模原市下水道条例	○	なし。
2	廃棄物処理法	○	なし。
3	相模原市廃棄物の処理及び清 掃に関する条例	○	なし。
4	騒音規制法 及び神奈川県生活環境の保全 等に関する条例	○	なし
5	振動規制法 及び神奈川県生活環境の保全 等に関する条例	○	なし
6	家電リサイクル法	○	なし。
7	自動車リサイクル法	○	なし。
8	消防法 及び 相模原市火災予防条例	○	なし。
9	相模原市開発事業基準条例	○	なし
10	神奈川県生活環境の保全等に 関する条例	○	なし。
11	高圧ガス保安法	○	なし。
12	RoHS 指令	○	なし。

### (2) 訴訟等の有無

環境関連法規への違法はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。



## 10. 代表者による全体評価と見直しの結果(2015年6月19日)

### (1) 環境方針

環境方針は継続するが、年々風化する事が無いよう、各自に伝える必要性を感じる。  
(掲示の続行等)

### (2) 環境目標及び計画

多くの項目で増加傾向となっているが、基本を見直し活動が出来るよう考えたい。  
目標や計画は継続し、削減方向へ変化できる様活動する。

### (3) 社会・取引先・法律等への対応

法規制については年間を通じて遵守できた。新たな法規制や変更点があれば情報を  
入手し、対応できる体制を維持する。

### (4) システムのその他の要素

事務局メンバーの入れ替えにより、多くの意見を取り入れる事が出来た。  
次年度も同メンバーにて、更なる深い活動が出来るよう期待したい。

以上

